

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2009-28189(P2009-28189A)

【公開日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2007-193929(P2007-193929)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月15日(2010.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

変動開始条件の成立により複数の図柄列が変動表示される表示手段と、
遊技領域を流下する遊技球を、常に流下態様変化手段によって1球ずつ受け入れ可能な第1受入口と、

前記第1受入口への遊技球の受け入れに基づいて第1始動情報を抽出する第1始動情報抽出手段と、

前記変動開始条件が成立したときに、前記第1始動情報抽出手段によって抽出された第1始動情報について、遊技者に付与される特典が相対的に小さい小賞当たりと、当該小賞当たりよりも遊技者に付与される特典が相対的に大きい大賞当たりと、を当選種別とする抽選処理を行う抽選手段と、

前記表示手段に表示される前記複数の図柄列を変動させたのちに停止させて、当該複数の図柄列の停止態様によって前記抽選処理の結果を導出する表示制御手段と、

前記抽選処理の結果が前記大賞当たりであるときは、遊技者に多量の賞球が付与される大賞当たり遊技を実行するとともに、前記抽選処理の結果が前記小賞当たりであるときは遊技者に付与される賞球が皆無または微量の小賞当たり遊技を実行する当たり遊技実行手段と、

前記当たり遊技実行手段による当たり遊技の終了後の遊技状態を、前記抽選処理において何れかの当選種別に当選する確率が相対的に低い低確率状態、または、前記抽選処理において何れかの当選種別に当選する確率が相対的に高い高確率状態に制御する遊技状態制御手段と、

を備える遊技機であって、

前記第1受入口の下方に配置され、前記遊技領域を流下する遊技球を受け入れ可能な第2受入口と、

前記第2受入口への遊技球の受け入れに基づいて第2始動情報を抽出する第2始動情報抽出手段と、

を備えるとともに、

前記抽選手段は、前記第2始動情報抽出手段によって前記第2始動情報が抽出された場合には、当該抽出された第2始動情報について、前記大賞当たりのみならず、前記小賞当

たりに代わる代替大賞当たりを当選種別とする抽選処理を行い、

前記当たり遊技実行手段は、当該第2始動情報についての抽選処理において当選すると、当選種別が前記大賞当たりおよび前記代替大賞当たりのいずれであるかに拘らず、前記大賞当たり遊技を実行し、

前記遊技状態制御手段は、

前記抽選処理の結果が前記大賞当たりであるときは、前記大賞当たり遊技が実行されたのちの遊技状態を前記高確率状態に制御し、

前記抽選処理の結果が前記小賞当たりであるときは、前記小賞当たり遊技が実行されたのちの遊技状態を前記低確率状態に制御し、

前記抽選処理の結果が前記代替大賞当たりであるときは、前記大賞当たり遊技が実行されたのちの遊技状態を前記低確率状態に制御するものであって、

前記遊技機は、さらに、

前記第2受入口の近傍に設けられ、当該第2受入口への遊技球の受け入れが相対的に容易となる促進態様、または、当該第2受入口への遊技球の受け入れが前記促進態様よりも相対的に困難となる平時態様に制御される可動部材と、

前記低確率状態に制御されているときは前記可動部材を前記平時態様に制御することによって、前記第2受入口への遊技球の受け入れを前記第1受入口よりも相対的に抑制しうるとともに、前記高確率状態に制御されているときは前記可動部材を前記促進態様に制御することによって、前記第2受入口への遊技球の受け入れを前記第1受入口よりも相対的に促進する可動部材制御手段と、

前記複数の図柄列とは別に、少なくとも当該複数の図柄列の停止態様のみでは把握できない不利益が発生しうる場合に、遊技者に対して所定の警告を実行可能な警告実行手段と、

を備えており、

前記高確率状態に制御されているとき、

前記第1始動情報についての抽選処理にて前記小賞当たりに当選すると、多量の賞球が付与されることがなく、前記小賞当たり遊技が実行されたのちの遊技状態が前記低確率状態に制御されるとともに、

前記可動部材制御手段が前記可動部材を前記促進態様に制御することで、前記第2受入口への遊技球の受け入れを前記第1受入口への遊技球の受け入れよりも促進させて、前記第1始動情報についての抽選処理の実行頻度を抑制するのみならず、

前記第1始動情報についての抽選処理の結果が導出される場合には、少なくとも当該抽選処理の結果が前記大賞当たりおよび前記小賞当たりのいずれであるかに拘らず、前記警告実行手段が前記複数の図柄列の変動表示に際して前記小賞当たりに当選しうることを警告する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記表示制御手段は、

前記複数の図柄列の変動表示に際して、前記抽選処理において当選している期待度が相対的に高いことを示す演出態様である高期待演出を実行する高期待演出実行手段、

および、前記複数の図柄列の変動表示に際して、前記抽選処理において当選している期待度が相対的に低いことを示す演出態様である低期待演出を実行する低期待演出実行手段、を有しており、

遊技状態が前記高確率状態に制御されている場合、

前記高期待演出実行手段は、前記抽選処理の結果がいずれかの当選種別への当選または前記高期待演出を伴うハズレであるときに、前記高期待演出を実行するとともに、

前記低期待演出実行手段は、前記抽選処理の結果が前記低期待演出を伴うハズレであるときに、前記低期待演出を実行するものであって、

前記警告実行手段は、前記第1始動情報についての抽選処理の結果に基づいて前記高期待演出が実行されているときに、前記小賞当たりに当選しうることを警告する

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技状態が前記低確率状態に制御されている場合、

前記高期待演出実行手段は、前記抽選処理の結果が前記大賞当たりまたは前記高期待演出を伴うハズレであるときに、前記高期待演出を実行するとともに、

前記低期待演出実行手段は、前記抽選処理の結果が前記小賞当たり、前記代替大賞当たりおよび前記低期待演出を伴うハズレのいずれかであるときに、前記低期待演出を実行する

請求項 2 に記載の遊技機。